

# 荒谷・吉田組が制す

## 東北高校選手権

東北高校選手権は28日、テニスとフエンスングを行い、岩手ペア同士の決勝となったテニス男子ダブルスは、荒谷組(3年)・吉田皓(1年)組が伊藤薫(3年)・伊藤大輝(2年)組を8-4で破り

優勝した。本県開催のフエンスングは、男子団体の一関二が3位に入った。

### テニス

(新青森県総合運動公園コート)  
▽男子  
▽シングルス準決勝

大(福島・安槻)	8-2	吉(福島・聖田)	8-4	松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
小(宮城・仙林)	8-4	西(福島・聖牧)	8-4	大(東北)	8-4	小(秋田・聖松)	付(秋田・聖松)
台(宮城・仙林)	8-4	城(福島・聖牧)	8-4	佐(宮城・仙藤)	9-7	付(秋田・聖松)	女(秋田・聖松)
小(宮城・仙林)	8-4	城(福島・聖牧)	8-4	台(宮城・仙藤)	9-7	付(秋田・聖松)	女(秋田・聖松)
▽同決勝				台(宮城・仙藤)	9-7	付(秋田・聖松)	女(秋田・聖松)
小(宮城・仙林)	8-2	大(東北)	8-4	松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
▽ダブルス決勝				大(東北)	8-4	小(秋田・聖松)	付(秋田・聖松)
荒谷(3年)・吉田皓(1年)	8-4	伊藤薫(3年)・伊藤大輝(2年)	8-4	松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
▽シングルス準決勝				松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
荒谷(3年)・吉田皓(1年)	8-4	伊藤薫(3年)・伊藤大輝(2年)	8-4	松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
▽シングルス準決勝				松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
荒谷(3年)・吉田皓(1年)	8-4	伊藤薫(3年)・伊藤大輝(2年)	8-4	松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田
▽シングルス準決勝				松(福島・日田)	8-4	岩(山形西)	田

## 岩手高勢 伊藤薫・伊藤大組は涙

県勢対決、しかも岩手の同校対決となった男子ダブルス決勝は荒谷組(3年)、吉田皓(1年)組が8-4で伊藤薫(3年)、伊藤大輝(2年)組に勝利。今大会で全種目優勝を目指していた岩手が、団体3位、シングルスは伊藤薫のベスト8が最高だった悔しさをぶつけた。手の内が知れた同士の決勝は、サーブやストロークに球威がある伊藤組が先行。それでも吉田皓が好リターンを続けて2-2の振り出しに戻し、スピンの利いた緩いボールを繰り出す荒谷組と力強いボールの吉田皓が緩急をつけて得点を重ねた。

荒谷と吉田は、中高生の東北王者を決める2月の東北インドアテニス選手権大会に続き「東北2連覇」。ともにシングルスで東北王者の経験がある伊藤薫、伊藤大と組む団体メンバーの4人は、同校のインターハイ最高となるベスト16(2勝)以上の成績を期待させる。

主将の伊藤薫は、ダブルスでの上位独占に自信を深めた様子で、沖繩インターハイの目標を「ベスト8でなくベスト4」と上方修正。杉村克明監督は「今大会は30度前後の気温の中で戦い、負傷や体力強化が必要」と気を引き締め、真夏のコートでの躍進を期した。



男子ダブルスで優勝した岩手の(右から)吉田皓、荒谷組、準優勝した伊藤大輝、伊藤薫  
|| 青森市・新青森県総合運動公園コート

## インターハイの躍進期待

(遠藤)